

国際交流 NEWS

Vol.5-2018

- 国際交流 NEWS 第5号
- 1 2018 夏実施 海外研修報告
 - 2 タイ・ベトナム人学生受入れプログラム実施報告
 - 3 お知らせ coming soon

2018 夏実施の海外研修参加者から HOT な報告です！！

行きました！

Australia (全学科対象)

もともと外国に興味があり、今年の夏、ついにオーストラリアに行くことができました！！正直に言うと英語はかなりできません。しかし、まず行かないことには何も始まらないし、変わらないと思えばオーストラリア海外研修に参加することを決意しました。オーストラリアといえば何が浮かびますか！？海やコアラですよ。海、びっくりするほどきれいです。群馬県民（海なし県）の血が騒ぎました。（笑）オペラハウスと美しい海の融合。夜の写真はありませんが、夜もとてもきれいでロマンティックな気分になること間違いなしです。写真はタロンガ zoo で見たコアラです。なんて可愛いことでしょう。愛くるしい表情でこちらを見えています。他にもカンガルーやトラやフラミンゴなどの動物も見てきました。ちなみに私は、タロンガ zoo には友人と一緒に去了。土日は1日中自由行動なので、遠出をするべし！



外国の食事が合わないと旅行の楽しみが1つ減ってしまうと言っても過言ではないでしょうか。友人と夕ご飯を食べに行こうと料理とお酒が美味しいお店を探して、優雅な1日を締めくくる。これもオーストラリアでの楽しい思い出の1つです。英語が話せないのはしょうがないとしてそれを理由に諦めていたり、悩んでいたりするのはもったいないと大きな声で叫びます（笑）

オーストラリアに行って私の中の価値観や考え方が変わったのは言うまでもありません。さらに、本場の英語に触れられたことはもちろん、外国人の友達の他に、オーストラリア海外研修に行っていれば知り合うこともなかったであろう学部や学年の異なる友人ができたことがこれからの人生における財産になりました。

子ども教育学科 2年 学生

Germany (福祉プログラム)

9/8~9/19の12日間、3学科あわせて4名の学生がドイツ研修に参加しました。私たちが行った街は、ライン川沿いにある中央ドイツの都市フランクフルトです。研修では、大学や産婦人科、児童相談所、視覚障害者へのアシストを中心に作られた歴史博物館、精神科病院を視察しました。現地の福祉事情を学び、博物館全体に点字ブロックが使用されている日本にはない施設を見るこ





とができました。視察だけでなく、フランクフルト市内歴史観光、ライン川沿いの修道院でオーケストラの鑑賞などフランクフルトの歴史を学びました。

そしてこの研修の良いところは、現地の学生交流と現地の家庭にホームステイができることです。一緒にショッピングや食事、コミュニケーションしたりして沢山交流できました。

そこで、英語が苦手でも単語を並べ、そこにジェスチャーや紙に絵を描くことで相手に思いが伝わることを実感しました。毎日、充実した学習や経験を研修中に過ごすことができました。

社会福祉学科 4年 学生



Germany

(教育プログラム)



9月2日から11日の10日間、ドイツのデュッセルドルフ、フランクフルトでの研修に参加しました！ここでは、私たちの楽しかったドイツ生活について紹介していきます。

～みんなでシェアハウス！？～

デュッセルドルフでは、学生9名がひとつ屋根の下で生活しました。シェアハウスのようなものです。ご飯や洗濯、掃除などをみんなで分担して助け合いながら過ごしました。

一番驚いたことは、お湯が出なくなってコンロが使えなくなり、ついには、電気もつかなくなってしまったことです。最終的には直ったので安心でしたが、みんなハラハラドキドキした瞬間でした！

～みんなでご飯！！inフランクフルト～

ドイツ研修も終盤に入ってきたころ、最後はフランクフルトで観光しました。夜は、引率の先生方と一緒に食べてもらい、イタリアン料理を食べました。みんなで色々な料理をシェアしたり、写真を撮ったりして楽しんでいました。自由時間では、世界遺産を見たり、お土産を買ったり、散歩をしたりと様々な形でドイツを満喫してきました！



先生方、仲間のおかげでとても充実した研修になりました！

子ども教育学科 2年 学生

Germany

(理学プログラム)

●疼痛プログラムについて

疼痛に対して日本とドイツのアプローチについてディスカッションをしました。日本とは考えが違い、ドイツの疼痛に対する治療は、痛みの部分に対して集中的に治療を行い、改善を施す方法でした。日本では痛みに対して、どこからその痛みが発症したのかを全体をみて評価するのに対して、ドイツでは痛みそのものの評価を行い、集中した治療をするという形でした。徒手的な手技はレベルが高く、これからの勉強にも活かしていけると思いました。

●全体を通して

10日間という短い期間の留学でしたが、本当に1日1日充実した楽しい日々を送ることができました。初日からドイツ人と食事会をしたときはどう英語で話せばいいのかわからない不安と緊張でいっぱいでしたが、最後には一人でもコミュニケーションをとれるくらいまで





成長できたと思います。また、みんなでアスレチックに行っただけで汗を流しながら楽しく交流も深めることができました。男子は全員一番難関なコースに挑戦し、高さ 30m もあるところから綱渡りをしたり、ジャンプしたりと本当に怖かったです。途中で足がすくみ進めない人もいて帰ってくるのに何時間もかかったのもいい思い出になりました。 Danke!!!!

理学療法学科 3年 学生

Finland

(全学科対象)

9月8日～9月19日の12日間、11名でフィンランド研修に行ってきました。研修先の JAMK 大学は、ヘルシンキからバスで4時間ほどのユバスキュラ市にあります。研修では、車椅子を用いたフィンランドの福祉体験や、心身のセラピーの講義などを受けました。印象的だったのは一次医療のヘルスケアセンターです。日本のようにいきなり



手作りのフィンランド郷土料理

大病院には行けないフィンランドでは、看護師に会えるまでに8日間、医師に会えるまで18日間を要すとのこと。日本の身近な病院とは大きく違うことに驚かされました。



JAMK 生と一緒に dinner !

学生交流では、JAMK 学生と食事に出かけたり、市内を探索したりしましたが、一番の思い出はホームステイです。2日間 JAMK 学生の家にご招待してもらい、手作りのお菓子や郷土料理のおもてなしを受けました。互いの文化に耳を傾けてみると、フィンランド人は日本人と似たところがあることがわかりました。おもてなしやプレゼントで驚かせるのが好きなところ、物静かだけれど質問にはしっかり答えてくれるところ、ありがとう（フィンランド語で「キートス」）を目を見ていってくれるところなど。国際交流でしか知りえない異国の人々の温かさに触れてうれしくなりました。今回のフィンランド研修での諸々の体験全てが私の宝物です。少しでも興味がある人は是非参加してみてください。

健康栄養学科 2年 学生

来ました！

Thailand & Vietnam

看護学科では、タイから5名ベトナムから5名の看護学生を迎え、「日本のお祭り」をテーマに学科での交流会を催しました。綿あめやたこ焼き、書道や折り紙体験を通して、日本の文化に触れて



もらいました。書道では自分の名前を漢字で書いてとっても嬉しそうでした！！

また、着物や浴衣にチャレンジしたい！との要望があったので、日本人学生で着付けをして、神社にお参りしたり、写真を撮りたくさん撮ったりして、みんな「かわいい！着物とても綺麗！」と満足してくれました！ホームステイではタイの学生2人を受け入れました。2人ともお寿司が好きなので回転寿司に行きました☆私は2人にブ



レゼントを用意していてサプライズで喜ばせようと思ったら、なんと2人もプレゼントを持ってきてくれていてビックリ！！互いの文化や看護に触れ色々な経験ができた最高の10日間でした！

看護学科4年 学生

ホストファミリーしました！

私はタイとベトナムの学生をホストしました。タイの学生たちもベトナムの学生たちも母国料理を振舞ってくれ、逆におもてなしを受けました。どっちがホストをしたのか分からなかったです。しかし、そのおかげですぐ打ち解け合うことができ、一人暮らしに2人受け入れなんて大丈夫かなと思っていた不安も一気になくなりました。



るのに身長制限があるって知っていますか？私がホストした子は身長が5cm足りなくて、試験は通ったのに学部変更を余儀なくされたようです…。

最終日にはハロウィンパーティーを行って、みんなでお鍋を囲みながらプレゼントやお手紙の交換をしました。タイにも“しゃぶ”という名前で日本のしゃぶしゃぶレストランがたくさんあるそうで（めちゃめちゃスパイシーなしゃぶしゃぶ）とても喜んでくれました。納豆にも挑戦してもらったのですが、ベ

た。

寝る前の女子トークも盛り上がり、夜中までずっとおしゃべりしていたのですが、皆さん、タイではPTの学部に入學す



トナムの子はやはり苦手みたいで、一口でグブアップ。ですが、ベトナムには納豆よりも悪臭を放つ海老料理があるようでそれよりは美味しいと言ってもらえました(笑)。三泊四日のホームステイ受け入れは本当にあっという間で、この交流がきっかけで帰国した今でも連絡を取り合える友達ができました。



薬学科2年 学生

coming soon !

2018年も残すところわずかとなりました。皆さんには、海外研修に参加したり、受入プログラムに参加したりと、それぞれの国際交流を満喫していただいたことと思います。ちょっと価値観が変わった！私にもできる！楽しい！などなど、自分のことを改めて振り返ったりしたのではないのでしょうか。

さて、来春2月、3月には海外の仲間がやって来ます。さらに足を進めて交流してみませんか。

2019 受入

February ドイツ フレゼニウス大学より（理学プログラム）

フィンランド ヤムク大学より（全学プログラム）

March ドイツ フランクフルト応用科学大学より（福祉プログラム）

*ホストファミリーを募集します。興味のある人は国際交流センターへ！



発行：国際交流センター 【Center of International Affairs】

9号館 1F tel/fax : 027-352-7006 e-mail : uhw-kokusai@takasaki-u.ac.jp